

2017年度 認定社会福祉士特別研修

受講者募集要項

実施機関	日本社会福祉士会（第四東京会場）
	認定社会福祉士認証・認定機構（東京会場）

1. 趣旨

特別研修は、認定社会福祉士の認定申請に必要な要件の一つである、研修履修に関する経過措置対応として開催します。（日本社会福祉士会は、認定社会福祉士認証・認定機構から委託を受けて実施します。）

認定社会福祉士になるためには、次の要件を満たすことが必要です。

- (1) 社会福祉士資格を有すること
- (2) 日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領と懲戒の権能を持っている団体の正会員であること
- (3) 相談援助実務経験が5年以上あること
- (4) 別に例示する実務経験があること
- (5) 認められた機関での研修を受講していること（研修受講20単位及びスーパービジョン実績10単位）

今回の経過措置は、過去の研修履歴を評価し、特別研修を修了することで、「(5) 認められた機関での研修を受講していること」とみなすものです。したがって、今回の経過措置が適用され、上記要件の(1)から(5)までを満たした者は認定社会福祉士の認定申請ができます。

過去の研修履歴とは、ソーシャルワーカーの職能団体が行う生涯研修において180時間（12単位）以上の研修履歴が必要です。認定社会福祉士認証・認定機構では日本社会福祉士会の生涯研修と日本医療社会福祉協会の生涯研修を対象として認めています。

なお、特別研修の修了をもって認定社会福祉士になれるわけではありません。認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要です。

2. 特別研修の目的

特別研修は認定社会福祉士認定のための経過措置対応として、修了者には認定社会福祉士と同等の実践力があることを担保することを目的としています。認定社会福祉士認定の本来の要件・水準と同等以上であること、すなわち認定社会福祉士の要件である30単位を取得した者相当以上であり、具体的には研修20単位相当量の研修受講による知識・技術を習得していることを確認し、スーパービジョン10単位相当量の実践力を得ていることの確認を行います。

【認定社会福祉士の定義】

社会福祉士及び介護福祉士法に定める相談援助を行う者であって、所属組織を中心にした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた者をいい、次の各号に掲げる役割を果たす。

- (1) 複数の課題のあるケースの対応を担当する。
- (2) 職場内でリーダーシップをとる。実習指導など人材育成において指導的役割を担う。
- (3) 地域や外部機関との対応窓口となる（窓口として緊急対応、苦情対応などに関わる。）
- (4) 関連分野の知識をもって、他職種と連携する。職場内でのコーディネートを行う。組織外に対して自分の立場から発言ができる。

3. 特別研修の基本フレーム

- (1) 研修8単位分（12単位分は過去の研修履歴を評価）については、支援の開始から終結（もしくは事業の開始から終了）までのレポート提出を求め、共通専門及び分野専門の知識を確認します。
- (2) スーパービジョンについては、支援過程において重要と考える特定場面の出来事（逐語など）とその際の判断や推察を記述したレポートの提出を求め、専門的な技術や根拠をもって適切に判断・行動ができているかどうかを確認します。

4. 実施機関

公益社団法人日本社会福祉士会（第四東京会場）
認定社会福祉士認証・認定機構（東京会場）

5. 受講対象者

特別研修は、当研修を修了することで認定社会福祉士の認定申請を行う予定がある者を対象に開催します。従って、受講要件は認定社会福祉士の認定要件と同様になります。具体的には次の事項をすべて満たすことが必要です。詳しくは認定社会福祉士認証・認定機構ホームページをご参照ください。

（認定社会福祉士認証・認定機構 HP：http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/01_tetsuzuki.html）

- (1) 社会福祉士資格を有すること
- (2) 日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領と懲戒の権能を持っている団体の正会員であること
- (3) 相談援助実務経験が5年以上あること（※1）
- (4) 別に例示する実務経験があること（※2）
- (5) 日本社会福祉士会もしくは日本医療社会福祉協会の生涯研修で180時間以上の研修を受講していること（日本社会福祉士会の場合は、旧生涯研修制度の共通研修課程修了3回以上の方もしくは旧生涯研修制度の共通研修課程修了2回+専門分野別研修4単位の方〔別紙『認定社会福祉士の経過的措置対応のための専門分野別研修の単位について』参照〕。日本医療社会福祉協会の場合は認定医療社会福祉士を取得している方。）

※1 相談援助実務経験の範囲について（必ずご確認ください）

①厚生労働省通知で定めた指定施設機関及び職種

↳ http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/files/01_tetsuzuki/koroshou.pdf

②認定社会福祉士認証・認定機構が認める業務の範囲

↳ http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/01_kiko/files/03_sodanenjoitsumukeiken.pdf

相談援助実務経験は、認定社会福祉士申請の要件と同様に、社会福祉士資格取得後の実務経験で、かつ過去10年以内の実務経験が対象です。また、認定を受けようとする分野での実務経験が2年以上あることが必須です。

※2 認定社会福祉士の認定申請時に「実務経験内容」を提出いただきます（認定社会福祉士制度認定規則施行細則参照）。今回の研修受講申込時は不要です。

6. 定員

各会場48名（※どちらの会場も先着順）

7. 集合研修日程及び会場

(1) 日本社会福祉士会（第四東京会場）

集合研修Ⅰ 2018年1月20日（土）～21日（日） TFTビルまたはタイム24ビル（共に東京都江東区）

集合研修Ⅱ 2018年3月10日（土） TFTビルまたはタイム24ビル（共に東京都江東区）

(2) 認定社会福祉士認証・認定機構（東京会場）

集合研修Ⅰ 2018年1月20日（土）～21日（日） 全理連ビル（東京都渋谷区代々木1-36-4）

集合研修Ⅱ 2018年3月10日（土） 調整中（東京都内）

※実施機関が異なりますが、研修日程が同じであるため、上記2会場のお申し込みを同時にお受け付けいたします。認定社会福祉士認証・認定機構の東京会場と日本社会福祉士会の第四東京会場に限り、その両方のお申し込みはご遠慮願います。お申し込みの際は、申込書の「受講希望先」に、どちらか一方の会場または『どちらでも可』に○をご記載ください。なお、どちらか一方の会場を選ばれていても、当該会場の定員を超えた場合は、もう一方の会場にて受講決定のご案内させていただくことがありますので、ご了承ください。

8. 受講費

36,000円（事前振込）

9. 懇親会

日本社会福祉士会の第四東京会場及び認定社会福祉士認証・認定機構の東京会場においては実施しません。

10. 申込方法

本研修の申込受付は、上記2会場とも同日程のため、日本社会福祉士会が一括して行います。以下(1)及び(2)をご確認の上、「受講申込書」及び「受講要件を満たしていることが確認できる資料のコピー」を日本社会福祉士会事務局宛てにご提出ください。

(1) 受講申込書

所定の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、「17. お問い合わせ先／申込先」に記載されている e-メールアドレス宛てに、送付してください。(※申込書の郵送及び持参は不可)

なお、e-メールでお申し込み後、日本社会福祉士会事務局よりお申込書の受領にかかるメールをご返信いたします。返信のメールは2営業日以内に順次お送りいたしますが、自動返信ではありませんのでご了承ください。返信が届かない場合は、通信障害等の恐れがありますので、日本社会福祉士会事務局の担当者にお問い合わせください。また、e-メールが使用できない等の場合は、予め日本社会福祉士会の事務局担当者にご連絡ください。

(2) 受講要件を満たしていることが確認できる資料のコピー

本研修の受講要件を満たしていることが確認できる資料として生涯研修修了単位にかかる職能団体の証明書(社会福祉士会会員の方は旧生涯研修制度の共通研修修了証明書、専門分野別研修については専門分野別研修の修了証、修了証明書もしくは認定証、日本医療社会福祉協会の会員の方は認定医療社会福祉士認定証)のコピーを提出してください。証明書は、受講申込書とともにお送りいただいても、別にお送りいただいても差し支えありません。受講申込書と別に送付される場合に限り、e-メールの他、郵送または FAX でも可能ですが、『認定社会福祉士特別研修の添付資料』及び『申込先の会場名(例：〇〇会場)』を必ず明記してください。

(証明書等のコピーは11月6日(月)必着)

なお、2017年度中に日本社会福祉士会が実施した本研修にお申し込みいただき、かつ、すでに証明書等のコピーをご提出された場合は、コピーの提出を省略することができます。

11. 申込期間

2017年10月1日(日)午前9時30分から10月31日(火)午後5時までお申し込みを受け付けします。

※お電話でのお問い合わせは、平日9:30~17:30にお願いいたします。申込受付開始日の10月1日(日)

は、事務局の開局日でないため、お電話でのお問い合わせは対応いたしかねますので、ご了承ください。

※申込期間外に申込書を送付された場合は、お受け付けできませんのでご注意ください。

※お申し込み数が定員を超えた場合はキャンセル待ちのご案内となります。

12. 受講可否の連絡

受講可否連絡は、11月中旬頃に各実施機関から郵便にて送付します。課題レポート、会場案内、受講費の納入方法、キャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご案内します。

13. 修了要件

集合研修への全出席、全レポート提出は必須です。その上でレポートの内容を評価し修了可否を判定します。レポートが期日までに提出されない場合や一定の基準に満たない場合は、本研修は修了となりません。

14. 研修プログラム(予定)

自宅学習と集合研修を行います。次頁の研修プログラム(予定)をご参照ください。

15. 認定社会福祉士の認定申請

認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要です。申請手続きについては認定社会福祉士認証・認定機構のホームページ上の「個人認定の手続き」でご確認ください。

(http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/01_tetsuzuki.html)

16. 期間延長について

本研修は、2017年度が最終開催となります。そのため、期間延長の措置はありません。

17. お問い合わせ先／申込先

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-13 カタオカビル 2F

(公社) 日本社会福祉士会 [担当：北村(毅)、赤沼]

TEL：03-3355-6541 FAX：03-3355-6543 e-mail：kenshu-center@jacsw.or.jp

■研修プログラム(予定)

◆自宅学習Ⅰ 課題レポート1～3の作成および提出

レポート締切：2017年12月14日(木) 消印有効

【内容】

1)課題レポート1 理論に関する事前学習レポート

「エコロジカルモデル(生態学的視点)」「システム理論」についての説明(各800字から1,000字以内)

2)課題レポート2 「自身の実践支援の開始から終結までの展開過程」(3,000字程度)

3)課題レポート3 「自身の実践の特定場面における振り返り」(字数制限無し)

◆集合研修Ⅰ 2018年1月20日(土)～21日(日)

〈1日目〉

時間	認定社会福祉士認証・認定機構(東京会場)	日本社会福祉士会(第四東京会場)
	内容/講師(予定)	内容/講師(予定)
13:00～13:15	オリエンテーション 開会挨拶	オリエンテーション 開会挨拶
13:15～16:15	講義「社会福祉実践における価値」 「知識と実践の融合」 講師：岡田 まり氏(立命館大学教授)	講義「社会福祉実践における価値」 「知識と実践の融合」 講師：藏野 ともみ氏(大妻女子大学教授)、木村 容子氏(日本社会事業大学准教授)
16:15～16:30	休憩	休憩
16:30～18:00	講義・演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：潮谷 恵美氏(十文字学園女子大学准教授)	講義・演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：片岡 靖子氏(久留米大学准教授)、新保 祐光氏(大正大学准教授)

〈2日目〉

時間	認定社会福祉士認証・認定機構(東京会場)	日本社会福祉士会(第四東京会場)
	内容/講師(予定)	内容/講師(予定)
9:30～12:00	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：潮谷 恵美氏	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：片岡 靖子氏、新保 祐光氏
12:00～13:00	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00～15:30	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：潮谷 恵美氏	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：片岡 靖子氏、新保 祐光氏
15:30～15:40	閉会	閉会

※上記以外の講師予定者

潮谷 有二氏(長崎純心大学教授)、逸持治 典子氏(社会福祉法人会津長寿園)、岡崎 昌枝氏(香川短期大学教授)、田上 明氏(東京都清瀬喜望園)、檜木 博之氏(身延山大学准教授)、古井 慶治氏(ふるい後見事務所)

◆自宅学習Ⅱ 課題レポート4の作成および提出

レポート締切：2018年2月21日(水) 消印有効

【内容】

課題レポート4：「自身の実践の特定場面における振り返り
～集合研修Ⅰをふまえて自身の実践を省察する～」

◆集合研修Ⅱ 2018年3月10日(土)

時間	認定社会福祉士認証・認定機構(東京会場)	日本社会福祉士会(第四東京会場)
	内容/講師(予定)	内容/講師(予定)
10:30～10:35	オリエンテーション・開会の挨拶	オリエンテーション・開会の挨拶
10:35～11:35	講義「集合研修Ⅰの振り返り」 講師：岡田 まり氏	講義「集合研修Ⅰの振り返り」 講師：藏野 ともみ氏、木村 容子氏
11:35～12:30	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：潮谷 恵美氏	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：片岡 靖子氏、新保 祐光氏
12:30～13:15	昼食・休憩	昼食・休憩
13:15～16:40	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：潮谷 恵美氏	演習「事例を用いたピアスーパービジョン」 講師：片岡 靖子氏、新保 祐光氏
16:40～16:50	閉会	閉会

※上記以外の講師予定者

潮谷 有二氏(長崎純心大学教授)、逸持治 典子氏(社会福祉法人会津長寿園)、岡崎 昌枝氏(香川短期大学教授)、田上 明氏(東京都清瀬喜望園)、檜木 博之氏(身延山大学准教授)、古井 慶治氏(ふるい後見事務所)

認定社会福祉士の経過措置対応のための専門分野別研修の単位について

認定社会福祉士の経過措置対応との整合のため、2016年度まで旧生涯研修制度の適用期間を延長するとともに、2011年度までに入会された方で、共通研修課程修了申請回数が2回の方への対応として、旧生涯研修制度における専門分野別研修を単位化して4単位まで加算できることとしています。

加算できる単位には、専門分野別研修のほか、認定社会福祉士制度の「分野専門」として研修認証された本会もしくは都道府県社会福祉士会が主催する研修も含まれます。

2016年度までに実施された研修の中で、専門分野別研修に該当する研修及び専門分野別研修へ単位換算のできる研修認証された研修を以下にご案内いたします。

1. 日本社会福祉士会主催

研修名	換算単位	記号番号
成年後見人養成研修【第1期～第11期】	2単位	NH-1
成年後見人養成研修（本会通信研修）【2009年度～2014年度】	2単位	NH-2
成年後見人養成研修（支部委託研修・委託集合研修）【2006年度～2016年度】	2単位	NH-3
障害者の地域生活支援研修【第1期～第5期】	2単位	NH-4
独立型社会福祉士養成研修【第1期A研修、第2期A研修、第3期、第4期】 ※第5期以降は共通研修課程に位置づけられた研修のため対象外です。	2単位	NH-5
独立型社会福祉士養成研修【第1期B研修、第2期B研修】	0.5単位	NH-6
保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修【第1期～第13期】	2単位	NH-7
第1期現場実習指導者養成研修【第1期】 ※2008年度以降開催の研修会は、共通研修課程に位置づけられた研修のため対象外です。	2単位	NH-8
虐待対応専門研修（現任者コース）【第1期、第2期】	2単位	NH-9
虐待対応専門研修（アドバイザーコース）【第1期～第6期（2016年度）】	2単位	NH-10
自立に向けての就労支援～就労支援研修～【2007年度、2008年度】 ※2009年度、2010年度は共通研修課程に位置づけられた研修のため対象外です。	1.5単位	NH-11
★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修【2012年度～2015年度】 ※試行研修、2010年度、2011年度は、認定社会福祉士研修認証前のため対象外です。	1単位	NH-12
★滞日外国人ソーシャルワーク研修【2013年度～2015年度】 ※2009年度、2010年度は、認定社会福祉士研修認証前のため対象外です。 また、2013～2015年度実施の研修会でも認定社会福祉士制度の研修単位取得に必要な修了課題を提出し、合格していない場合は対象外となります。	1単位	NH-13
★災害支援コーディネーター養成研修【2013年度、2014年度】 ※2012年度は、認定社会福祉士研修認証前のため対象外です。	1単位	NH-14
★リーガル・ソーシャルワーク研修【2014年度～2016年度】	1単位	NH-15
★認定社会福祉士スクールソーシャルワーク研修【2015年度、2016年度】	1単位	NH-16
★障がい者の地域生活支援研修【2015年度、2016年度】	1単位	NH-17

★レジデンシャル・ソーシャル研修【2016年度】	1単位	NH-18
★災害支援活動者養成研修【2016年度】	1単位	NH-19
★子ども家庭支援ソーシャルワーク研修【2016年度】	1単位	NH-20
★自殺予防ソーシャルワーク研修【2016年度】	1単位	NH-21

2. 都道府県社会福祉士会主催

以下に掲載している研修会は、認定社会福祉士制度の「分野専門」として研修認証された都道府県社会福祉士会主催の研修会です。研修会の開催日や研修認証の有効期間内にある研修かどうか等の詳細は、研修を主催する都道府県社会福祉士会にご確認ください。
(都道府県順)

県士会名	研修名	研修認証番号(注2)	換算単位	記号番号
北海道	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160005	1単位	HD-1
埼玉	★成年後見人養成研修	20140041	2単位	ST-1
千葉	★刑事司法ソーシャルワーカー養成講座(基礎編) (旧：司法福祉連続研修)	20130006	1単位	CB-1
	★刑事司法ソーシャルワーカー養成講座	20150008	1単位	CB-2
東京	★エンパワメントアプローチ基本演習	20130079	1単位	TK-1
	★エンパワメントアプローチ演習(学校コーチング)	20130081	1単位	TK-2
長野	★福祉関係者のための地域ネットワーク実践力養成研修	20160010	1単位	NN-1
静岡	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160001	1単位	SO-1
愛知	★スクールソーシャルワーカー養成研修	20130031	1単位	AC-1
岐阜	★スクールソーシャルワーク研修	20130002	1単位	GF-1
京都	★スクールソーシャルワーカー養成研修	20140040	1単位	KT-1
大阪	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160006	1単位	OS-1
	★司法ソーシャルワーク研修	20160007	1単位	OS-2
兵庫	★高齢者虐待対応研修	20150007	2単位	HG-1
	★成年後見人養成研修	20150017	2単位	HG-2
	★滞日外国人ソーシャルワーク研修	20160008	1単位	HG-3
福岡	★地域包括ケア推進基礎研修、地域包括支援センター総合相談・権利擁護研修、地域ケア会議実践研修	20130032	1単位	FO-1
	★児童家庭福祉論	20130033	1単位	FO-2
	★医療ソーシャルワーク論(理論編)	20130034	1単位	FO-3
	★医療ソーシャルワーク論(地域生活支援)	20130035	1単位	FO-4
	★医療ソーシャルワーク論(脳血管疾患患者支援編)	20140054	1単位	FO-5
	★在宅障害者支援(身体・知的・精神)	20140007	1単位	FO-6
	★老年心理学～臨床現場の振り返りを踏まえて～	20140053	1単位	FO-7

	★高齢者地域支援研修	20140023	1 単位	FO-8
	★成年後見人養成研修	20140024	2 単位	FO-9
	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160009	1 単位	FO-10
佐賀	★成年後見人養成研修	20130065	2 単位	SG-1
	★罪を犯した高齢者・障害者支援研究	20150014	1 単位	SG-2
	★生活困窮者自立支援研究	20150015	1 単位	SG-3
大分	★「地域包括ケア」構築に向けたネットワーク実践力養成研修	20160017	1 単位	OI-1
宮崎	★成年後見人養成講座	20150011	2 単位	MZ-1
鹿児島	★地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	20160011	1 単位	KG-1

(注1) ★印の研修について

認定社会福祉士制度の分野専門の研修として認証された本会および都道府県社会福祉士会主催研修の単位は、専門分野別研修の単位とすることができますが、認定社会福祉士の経過措置のために専門分野別研修の単位として申請した研修は、旧生涯研修制度の共通研修課程修了申請の単位、また、新生涯研修制度の専門課程修了申請の単位とすることはできません。

(注2) 研修認証番号

認定社会福祉士認証・認定機構に認証された研修会には、必ず「研修認証番号」があります。ご自身の参加された研修会が、上記一覧の認証された研修に該当しているか否かについては、お手元にある修了証に記載された研修認証番号をご確認ください。

2017年度 認定社会福祉士特別研修 受講申込書

認定社会福祉士認証・認定機構(東京会場)兼日本社会福祉士会(第四東京会場)

下記のとおり申し込みます。

※太枠内必須

受講希望先 ※どちらか一方の会場をご希望した場合、そのご希望に添えないことがあります。詳細は募集要項の「7. 集合研修日程及び会場」をご参照ください。	実施機関(会場名)	希望会場に○
	認定社会福祉士認証・認定機構(東京会場)	
	日本社会福祉士会(第四東京会場) どちらでも可	
(ふりがな) 申込者氏名・性別	()	男 ・ 女
連絡先住所 □自宅 □勤務先	〒	
日中連絡先	TEL : _____ FAX : _____ メールアドレス : _____	
勤務先名		
所属する職能団体 会員番号 ※社会福祉士の会員番号は、日本社会福祉士会が発行したもの	<input type="checkbox"/> _____ (都道府県) 社会福祉士会 会員番号 _____ <input type="checkbox"/> 日本医療社会福祉協会 会員番号 _____	
	【会場名】	【受講番号またはキャンセル待ち番号】
	東京会場	
	福岡会場	
	大阪会場	
	第二東京会場	
	第二大阪会場 第三東京会場	

※上記の『2017年度における特別研修の申込状況』の欄に、受講番号またはキャンセル待ち番号をご記載いただいた方は、以下の項目については省略可

社会福祉士登録番号	登録番号 : _____
職能団体での生涯研修実績等	※受講要件(「5. 受講対象者」の(5))について、以下のいずれかに☑を入れた上で、それを確認できる職能団体の証明書(研修の修了証等)のコピーをご提出ください。専門分野別研修記号番号は、募集要項の別紙をご参照ください。 <input type="checkbox"/> 旧生涯研修制度の共通研修課程修了3回以上 <input type="checkbox"/> 旧生涯研修制度の共通研修課程修了2回+専門分野別研修4単位 ※専門分野別研修の記号番号 (-) (-) (-) (-) <input type="checkbox"/> 認定医療社会福祉士

相談援助実務経験年数 (5年以上の実務経験があることが必要) ※ <u>社会福祉士資格取得後の実務経験で、かつ過去10年以内の実務経験をお書き下さい。</u> 社会福祉士取得前や直近10年を超えるものは含めることができませんので記載しないでください。	勤務先名	職種	勤務期間
			年 月～ 年 月 (年 ヶ月間)
			年 月～ 年 月 (年 ヶ月間)
			年 月～ 年 月 (年 ヶ月間)
			年 月～ 年 月 (年 ヶ月間)
	合計		
※「職種」は申請予定の分野ではなく、それぞれの勤務先におけるご自身の職種(相談員、支援員、専門員、ケースワーカー、施設長等)をご記載ください。 ※ 独立型社会福祉士 の場合は、「職種」に『 独立型 』とご記載ください。			
申請予定の認定分野 (実務経験2年以上360日以上が必要)	<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 児童・家庭 <input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 地域社会・多文化		
配布する受講者名簿への氏名・勤務先・都道府県掲載可否	<input type="checkbox"/> 否 (受講者番号のみ掲載します)		
キャンセル待ち	申込数が定員を超えた場合、キャンセル待ちを希望する方は、 <input type="checkbox"/> にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> キャンセル待ちを希望します		
備考 (受講にあたり配慮が必要な場合にご記入ください)			

【申込方法】 必要事項をご記入の上、下記【申込先】のeメールアドレス宛てに送付してください。また、「受講申込書」の他に、受講要件を満たしていることが確認できる資料(証明書等)のコピーの提出も必要です。詳細は、本研修の募集要項「10. 申込方法」をご参照ください。(電話でのお申し込みは受け付けていません。)

【申込先】 (公社)日本社会福祉士会 事務局 [担当:北村 毅、赤沼裕紀]
 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-1-3 カタオカビル2F
 TEL 03-3355-6541 FAX 03-3355-6543 e-メール: kenshu-center@jacsw.or.jp

【申込締切】「受講申込書」10月31日(火)17:00必着※定員を超えた場合は、キャンセル待ちでのご案内になります。「証明書等」11月6日(月)必着

【受講可否の連絡】 受講可否連絡は11月中旬頃に各実施機関から郵便にて送付します。課題レポート、会場案内、受講費の納入方法、キャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご案内いたします。

お預かりした個人情報、認定社会福祉士認証・認定機構と日本社会福祉士会が保有し、本研修の運営目的以外には使用いたしません。